



2017年2月7日 No.4
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

建交労

2017年春闘・月間推進ニュース

全組合員参加で労働組合の真価を發揮しよう 広島県本部が2017年春闘討論集会を開催

建交労広島県本部は、2月5日(日)に、広島市内で「2017年春闘討論集会」を開催しました。集会には、福山地域、尾道、三原、ダンプ、広島、鉄道、労職、広島地域の各支部と県本部などから8業種の27人が参加しました。中藤久雄委員長が主催者あいさつをおこない、中央本部の足立浩副委員長(全国トラック部会部会長)による情勢学習を受けて、山田昭夫書記長が、県本部



情勢学習をおこなう足立浩副委員長

春闘方針を提案しました。2月16日の一斉要求提出、2月末までに要求アンケートの集約を強調し、被爆地の労組として国連・核兵器廃絶の「国際条約」締結の締結を後押しするための「ヒバクシャ国際署名」を積極的に取り組むことなどを強調しました。質疑討論では、単価の引き上げ闘争の事業団・高齢者部会、組合つぶしに対する裁判闘争、再雇用による賃金大幅ダウンを年金支給までは改善させようと奮闘しているトラック部会、家族からも一般アンケート17筆集めた労職支部、久しぶりに組合員が加入して勇気づけられている鉄道支部、「中国フェスタ」のつながりを活かして署名に取り組むダンプ支部や建設現場からの発言など10人が積極的に発言、どの発言も春闘方針を補強する内容ばかりでした。集会では「春闘闘争宣言」および「共謀罪を国会に提出させない」特別決議を全員の拍手で確認、廣木昭代副委員長が閉会挨拶を行い、中藤委員長の団結ガンバローで終了しました。

動通大・全労連わくわく講座受講受付開始

学習を力に確信を持って要求闘争で奮闘しよう

2017年度『勤労者通信大学及び全労連わくわく講座』の受講受付が始まっています。真実を見抜く力を身に着け、情勢や方針に確信を持って要求闘争や組織建設を推進する為にも学習教育活動の強化はかせません。各組織ではパワーアップ試験修了者・執行委員・組織建設推進委員を対象にして積極的に受講者を募りましょう。*わくわくは中央本部へ申込みを近日中に文書送付予定

勤労者通信大学の学習システムは？

■受講料

基礎理論コース 15,000 円
 労働組合コース 12,000 円 憲法コース 10,000 円

■学習期間の目安

基礎理論コース 9ヵ月 憲法・労組コース 6ヵ月

■「通信」 基礎理論 6回 労働組合 3回 憲法 2回

■テスト 基礎理論 3回 労働組合 2回 憲法 2回

■テキスト 基礎的理論を、体系的で精選された学習内容、わかりやすい論理で学べます。本文は左ページに。右ページは資料です。

■理解を助ける「通信」 テキスト学習の道案内をするもので、補講や情勢解説、また受講生どうしの交流のページも。

■理解を確認するテスト 点数をつけるためだけでなく、理解を確認するためのものです。

■親切な添削 「まちがいから学ぶことができる」の立場で、テストには、ていねいな添削指導が行われます。

■質問回答制度 わからない点、詳しく知りたい点は、ハガキやメール (kin@gakusyu.gr.jp) で、気軽に質問を。

■学習会相談 学習会をお勧めします。学習会の持ち方や講師・チューターの相談をお寄せください。

申込方法：下記に記入し、勤労者通信大学または、都道府県学習組織にお申し込みください。

2017年 勤労者通信大学 受講申込書

申込日 年 月 日

希望コース (○をつけてください) 1. 基礎理論コース 2. 労働組合コース 3. 憲法コース

フリガナ				職場名	
氏名					
性別	男	女	年齢	歳	職場電話
勤通大名による発送で差しつかえのある方は、右に○を []					
自宅(携帯)電話			都道府県名		
E-mail			所属の組織名		
教材送付先	(自宅・職場・労働組合)※いずれかに○をつけてください				
	〒				
	都道府県				
役職名					
事務局記入欄					

『学習の友』を購読していますか。

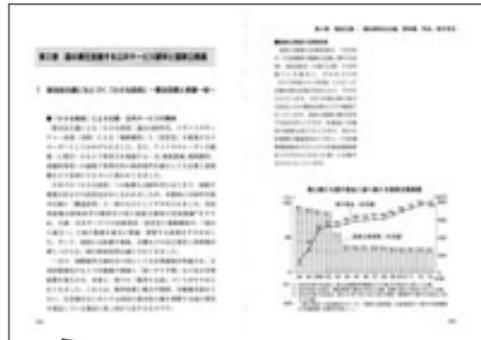
している していない 申し込む

全労連わくわく講座を受講しましたか。

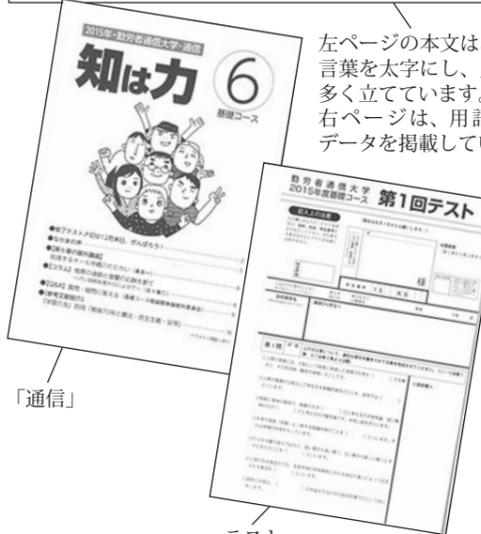
しました している していない

事務局記入欄

取扱	請求	入金	テキスト	財政部



テキスト



「通信」

テスト

左ページの本文は、大切な言葉を太字にし、見出しを多く立てています。右ページは、用語解説やデータを掲載しています。

勤労者通信大学

2017年度 入学案内

2017年4月開校

労働組合コース・憲法コース
 テキスト改訂・補強で、よりパワーアップ

基礎理論コース

- ☆ものの見方・考え方
- ☆資本主義経済と暮らし
- ☆たたかいと社会進歩

労働組合コース

- ☆労働組合の基礎
- ☆要求をかちとるために
- ☆たたかいの基本方向

☆全労連すいせん

全労連わくわく講座の
 ステップアップ学習に

憲法コース

- ☆そもそも憲法とは何か
- ☆憲法には人類の宝がいっぱい
- ☆憲法と安保のせめぎあい
- ☆働くルール、社会保障と憲法
- ☆国民主権一議院、参政権、司法、地方自治
- ☆教育と憲法
- ☆両性の平等と憲法

☆全労連すいせん

《2017年度に開校される3つのコース》



◎早期申込者には本をプレゼント!

2017年2月28日までに受講を申し込み、受講料を入金された方に、以下の本をプレゼントします。

- 《基礎理論コース》
 浜林正夫著『世界は変わる、日本はどうする』
- 《労働組合コース》
 「秘伝」編集委員会編著『秘伝 組合活動の楽しみ方』
- 《憲法コース》
 川村俊夫著『憲法9条 VS 集团的自衛権』

主催 労働者教育協会

申込先

勤労者通信大学

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-4-4
 平和と労働センター
 TEL 03-5842-5644 FAX 03-5842-5645
 E-mail: kin@gakusyu.gr.jp

取扱団体

◎ホームページアドレス・ブログは、「労働者教育協会」で検索!

真理を知る楽しさ！行動への確信と勇気

●要求と権利、団結とたたかいを学ぶ

労働組合コース

自信をもって要求を発信し、交渉する力をつけるために、要求の正当性、労働組合はなぜ必要かを、そもそもから学びます。

第1部 労働組合の基礎

- 第1章 労働組合とは
- 第2章 人間らしく生き、働く権利

第2部 要求を勝ち取るために

- 第3章 労働者の要求とは
- 第4章 労働者・国民の暮らしをよりよく

第3部 たたかいの基本方向

- 第5章 労働組合を強く大きく
- 第6章 よりよい社会をつくるために

●改訂・補強でより学びやすく！

情勢部分は全面的に改訂
第2部「はじめに」・第4章第4節を統合して第4章第1節に

*主な補強点

- ①労働組合の日常活動（右ページ活用）※第5章
- ②労働安全衛生（約2ページ増）※第3章第2節5項
- ③社会保障（「改革」の現状について全面改訂）※第4章 P236～238

●社会を見抜く「科学の目」を学ぶ

基礎理論コース

本質を見抜く「科学の目」を納得いくように学び、流されない、あきらめない生き方を身につけます。

■これまでの基礎コースを基礎理論コースと改称しました

第1部 ものの見方・考え方

- 第1章 ものの見方・考え方の基本
- 第2章 社会のしくみとその歴史

第2部 資本主義経済と暮らし

- 第3章 資本主義経済のしくみ
- 第4章 資本主義の発展と現代

第3部 たたかいと社会進歩

- 第5章 現代社会と社会変革
- 第6章 日本社会の変革と未来

●憲法をそもそもから学ぶ

憲法コース

戦争する国にしないために、安心して暮らせる社会をつくるために。憲法をそもそもから学び、憲法を活かす力を身につけます。

はじめに—そもそも憲法とは何か

- 第1章 日本国憲法には人類の宝がいっぱい
- 第2章 日本国憲法と日米安保体制のせめぎ合い
- 第3章 働くルール・社会保障と日本国憲法
- 第4章 国民主権
—議会制民主主義、参政権、司法、地方自治
- 第5章 教育と日本国憲法
- 第6章 両性の平等と日本国憲法

●情勢の進展に合わせて改訂
戦争法施行など新たな段階に見合うよう補強しました。

問題の本質をつかむ学習を



山田 敬男（勤労者通信大学 学長）

参議院選挙では、労働者・市民と野党の共同の力で、政治を変えられることが事実を持って示され、歴史的な成果を得ました。同時に、「改憲勢力」が3分の2の議席を超え、危険な結果をもたらしています。

この歴史の岐路に、確信と勇気を持った多くの仲間が求められています。

確信と勇気は、問題の本質をつかみ運動の展望を深く理解することから生まれます。そのためには、科学的精神を身につけることが必要です。

勤労者通信大学こそ、その学習の場です。みなさんの入学をお待ちしています。

●自信をもって要求を言うために、基本を学ぶ

宮城 医労連

15年度より労組のパート部長をしています。16年は基本を学んでみよう、と受講しました。パート部として当局に自信をもって要求を言えるようになりたいです。なぜ、組合が必要なのか、何を求めて活動するか、わかりやすく学べました。

労組コース

●勉強できたことは自分にとって大きかった

北海道 全教

高教組本部の紹介により、受講しました。自分自身、まだ労働組合についてや資本主義の仕組みなど、詳しく知らなかったもので、勉強できたことは、自分にとって大きかったです。

労組コース

●感情だけでなく、科学的になりたい

愛媛 全商連

仕事をしながらで、くじけそうになりますが、感情だけだったので、科学的に考え、見ることができるようになりたいです。感情だけだと行き詰まることが多くなったので。難しい時もありますが、社会の現実と結びつけられるようになりたいです。

基礎理論コース

●ニュースや新聞がわかるようになった

東京 自交総連

ニュース、新聞を見てわからないことが多かったけど、テキストを読んで、少しずつわかってきました。一度だけで終わらせず、くりかえし勉強することが大事だと思いました。

憲法コース

●闘うために、若者に広げたい

神奈川 自治労連

労働組合に入っていますが、なかなか組合そのものや労働運動について学ぶ機会がないので、勉強できてよかった。闘う労働組合を作るために、このような勉強会を周囲の若者の間にもどんどん広げていきたいと感じる。

労組コース

●正しい知識を身につけて、流されないようにしたい

千葉 全建総連

考え方を直すきっかけになった。とくに国家について、反弁証法的な考え方をしていることに気づき、根源をたどす必要があると思いました。自分の心を大切に、正しい知識を身につけ、流されず判断できるようになりたいです。

基礎理論コース

●気づき、発見の多さにときめいています

埼玉 生協労連

久しぶりに弁証法や唯物論について学びました。加齢で、学びつらさはあるものの、気づき、発見の多さにときめいています。若い頃には気づかずにいた「真理」なんて、すてき。新しいものを学ぶのに年齢は関係ない。楽しく焦らずに学びたいです。

基礎理論コース

●全執行委員で受講し、改憲反対運動に結集を

埼玉 国公労連

憲法改悪を許さない運動に結集するため、支部全執行委員が、本コースに入学し、しっかり学習することを確認しました。

憲法コース

受講生の声



2017年

(全労連初級教育制度)

わくわく講座のご案内

学習することで

運動への確信を



全労連 議長
小田川 義和

「シールズ (SEALDS) が選書プロ

ジェクトを始動」、2015年9月27日の東京新聞の記事です。「デモの出発点は学ぶこと。先人の知の蓄積があつて、私たちはデモで思いを発信してきた」とのメンバーのコメントも載っていました。

「労働組合の運動、組織の前進には学習が不可欠」、多くの方が異口同音におっしゃいます。ですから、ぜひ全労連のわくわく講座を職場、地域運動の柱に位置付け

てください。

「この世の中、何をやってもしよせん変わらぬ」と冷めているあなた。「不安定雇用になったのも自分の責任」と思い込んでいるあなた。「ブラックな働かせ方を何とかしたい」と悩んでいるあなた。わくわく講座で、苦しみ、悩みのもとにある社会の仕組みを学び、解決の道を一緒に探してみませんか。

皆さんの受講をお待ちしています。

全労連初級講座も
2017年で3年目を
迎えます。
この2年間で
全国3700人の方々が
受講しています



参加者からは、
「わかりやすい」
「勇気をもたらした」
「仲間意識が高まった」
などの感想が
寄せられています



仲間と一緒に受講しましょう

- 2017年4月応募締切 6月開始(6か月間)
- テキストを用いて学習。サポーターの援助が受けられます。
役員になって日が浅い組合員、役員になって欲しい人に声をかけましょう

 **全労連** 全国労働組合総連合

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 TEL(03)5842-5611 FAX(03)5842-5620
http://www.zenroren.gr.jp

2016.11

受講者はみんな元気に

ビデオ講座でわかりやく各章を解説

テキストの内容

第1章 人間らしく生き働くことと労働組合

日本国憲法が私たちの人間らしく生き、働く権利を保障していることを学び、私たちの働かされ方と労働組合の果たす役割を考えます。

第2章 労働者・労働組合の権利

労働者・労働組合の権利の特質と日本国憲法に定められている労働権・労働基本権、労働基準法や労働組合法について学びます。

第3章 労働組合の組織と運営

要求とは何か、みんなの参加と討議で練り上げる要求、労働条件決定の仕組みと団体交渉について学びます。産別や地域、組織拡大と共済について学びます。

第4章 労働者・労働組合の基本的要求と重点課題

基本的な8つの要求・課題について学びます①賃金、②労働時間、③労働安全衛生活動、④雇用、⑤ジェンダー平等、⑥社会保障、⑦憲法と平和、民主主義を守る、⑧公務労働

第5章 未来をひらくナショナルセンター=全労連

全労連結成につながった日本労働組合運動の歴史、組織の特徴、運動の到達点、国際活動について学びます。

（各章の導入部にマンガが入り、仲間からの手紙、コラム、図表など理解を助けるしくみがいっぱい。）



実施要項

- (1) **受講対象**：役員になって日が浅い人、役員になってほしい人など
- (2) **学習期間**：2017年6月～11月(6カ月間)
- (3) **学習方法**：テキストを使い、1カ月で1章、6カ月で全5章を学習します。職場・地域を単位に「学習サークル」を作りましょう。
- (4) **援助体制**：学習サポーターを配置し修了を援助します。
※毎月1回、パソコンやスマホを使って、web上で簡単なチェックテストができます。質問・疑問・意見・感想などを出すこともできます。

- (5) **労働学校(スクーリング)が開催されます**
地方組織(あるいは地域組織)単位で行われます
開講時：オリエンテーションと記念講演
終了時：1日労働学校
- (6) **修了基準**：テキストを読了し、修了時の労働学校に参加してください。参加できないときは送られてきた修了テストを提出。修了者には議長名の修了証を交付し、記念品を贈呈します。
- (7) **応募締切**：2017年4月末日
- (8) **受講料**：3千円(再受講者は無料)

申込用紙

申し込みは所属組合へ

組織名		役職			
氏名		年齢	歳	性別	男・女
住所	〒			どちらかに○	新規・再受講
電話番号		Eメール又は携帯メールアドレス			

